

“議会を傍聴してみませんか”

議会は公開を原則にしていますので、どなたでも本会議の傍聴をすることができます。町政を身近に知るためにも議会の傍聴をおすすめします。

傍聴を希望される方は本会議の当日、議会事務局（箱根町役場本庁舎4階）で受付簿に住所、氏名などを記入していただくだけで結構です。

議会は6月・9月・12月・3月の年4回の定例会とそれ以外の月に開催される臨時会があります。

日程は議会運営委員会で決定されます。

詳しいことは、議会事務局までお尋ね下さい。（☎85-9570）



第67回(2012年)国際通貨基金・世界銀行年次総会参加者への箱根誘致に関する要望書

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、M9.0という大地震と想像を絶する大津波により広範囲にわたり甚大な被害を及ぼしました。

この震災による福島第一原子力発電所の事故は、電力の供給不足を招いただけでなく、広範囲におよぶ放射能汚染を引き起こしました。この事故以来、日本への外国人観光客が激減し、国際観光地を標榜している箱根においても前年の6割程度しか回復していないのが実情です。海外の方々が日本に対し、今も強い不安を抱えていることがうかがえます。

このような中、第67回(2012年)国際通貨基金・世界銀行年次総会が、東京で行われることは大変喜ばしいことであり、日本が安全であることを世界に発信する絶好の機会であると考えています。この総会には、世界各国から多数の要人が参加されるほか、金融機関の関係者を含め2万人以上の来訪が見込まれ、総会に伴うセミナーや会合も、数多く予定されていると伺っております。

現在、国の施策であります「観光立国推進基本計画」におきましては、訪日外国人3,000万人を目標に、鋭意取り組まれていることと存じます。当町でも誘客対策として、東日本大震災以後、官民一体で、日本が元気になるために、箱根の魅力を生かして「今、箱根にできること」を実施することを目的に、「箱根温泉AID」プロジェクトを発足し、日本の安全を箱根町から発信するべく、外国人観光客の誘致を積極的に展開しております。

そこで、今回の総会で来訪される関係者の方々から近い観光地である箱根町においていただければ、わずかながらではありますが、海外の方の放射線に対する不安を取り除き、さらには海外の観光意欲を呼び覚ます事が出来るものと思いますので、1人でも多くの総会関係者に、箱根町への観光を促して頂けるよう要望するものです。

平成24年3月16日

編集後記

箱根を歌った「箱根八里」を作曲した滝廉太郎。彼が作曲した有名な歌「荒城の月」は大分県竹田市の岡城址で構想したとされています。平成22年同市に議員視察をしてきました。竹田市は江戸時代にその地を治めていた岡藩の領地にあたり、岡藩四代藩主中川久恒公の参勤交代の際に、観賞用と飢餓時の非常食として「箱根ユリ（ヤマユリ）」を持ち帰ったことが伝えられて

います。八代藩主中川久貞公は深くこの花を賞玩し、墳墓に球根を植えるよう遺言に記したそうです。以後、竹田地方に広く箱根ユリが分布することとなり、昭和30年代には岡城址に箱根ユリを数多く移植し大切に保護していたところイノシシ等の被害により箱根ユリが激減してしまっただけでなく、このことを聞いた私達はNPO団体と協力し箱根ユリの球根を50個用意し視察の際に持参しました。竹田市首藤市長らの歓迎を受け市庁舎前の花壇に球根の植え付けを行いました。昨年も球根を100個送付したところ、大いに喜んでくださり、平成24年1月に箱根ユリの定植式を岡城下町四百年祭記念事業と位置付けると共に箱根町と竹田市の箱根ユリを縁とした絆を深めるために今後も開催するとの手紙をいただきました。（石川 記）

議会だより編集委員会

委員長 村野由紀子

副委員長 稲葉親太郎

委員 石川 栄

委員 遠藤 秀則